

CASBEE神戸ver.3
順心神戸病院

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.2
1 音環境						3.0	0.15	2.6	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						3.1	0.35	3.0	1.00	3.1
2.1 室温制御						3.3	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		冷暖同時個別空調の採用。				4.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.3	0.25	3.6	1.00	3.4
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		大きな開口により昼光利用に配慮。				5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口							-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御						3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.4	0.25	3.0	1.00	3.3
4.1 発生源対策						3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						1.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙。				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1 機能性						3.1	0.40	4.4	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		個室15㎡/床以上、4床室9㎡/床以上を確保。				3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		病室の天井高2.6mを確保。				3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内装は防汚性の高い仕上を採用。				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房ダクトはガルバリウム製、高湿系は塩ビライニング製。				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種にC以上の配管を使用。				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		手術部門など機能維持が必要な系統を発電機系統。				4.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水器具の採用、災害用汚水槽の設置、受水槽に蛇口を設置。				4.0	0.20	-	-	
3 電気設備						4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		設計用標準水平震度を特定の施設の値としている。				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.5	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	4.0	0.50	
1	階高のゆとり	低層部(共用)階高=4.2m,4.5m、高層部(病棟)階高=3.7m。	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率(1階)=0.142、壁長さ比率(4床室)=0.162。	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性	機器更新用のスペースを見込んでいる。	4.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.81。	4.0	0.20	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.88	2.6	0.50	-	2.6
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				3.0	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水			節水型便器の採用。	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生クラッシュラン(基礎砕石)、ビニル床タイル(床仕上)	4.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			内装は軽鉄・仕上を採用。	4.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.20	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			主たるビニル床タイルの接着剤は有害物質を含まない。	4.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	硬質ウレタンA種1(ノンフロン)を採用。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	